

欧州環境インサイト ニュースメール

EBSニュースメール2011年9月号

「欧州環境インサイト」ニュースメール2011年9月号をお送り申し上げます。皆様のビジネスにとって何らかのお役に立てれば幸いに存じます。

----- ヘッドライン -----

- 【太陽光:ドイツ】太陽熱のソーラー・ミレニアム、米プロジェクトの一部を太陽光に転換
- 【太陽熱:スペイン、ドイツ】エーオンとアベンゴア、共同開発の太陽熱発電所が稼働
- 【風力:イタリア】エネル、ブラジルの風力発電事業を3件落札
- 【風力:英国】丸紅、英洋上風力発電所に出資
- 【風力:デンマーク】ベスタス、ニカラグアでタービン22基受注
- 【バイオマス:フランス、オランダ】仏アレバ、オランダでバイオマス発電所建設
- 【低排出車:スウェーデン、ドイツ】ボルボとシーメンス、EV技術を共同開発
- 【排出量:英国】家庭の排出削減量、3年間で1億9,700万トンに
- 【政策:チェコ】チェコ、電力各社に排出権を無償割り当てへ
- 【政策:EU】トラック課金のEU指令、対象を域内の全高速道路に拡大

--- ニュース -----

【太陽光:ドイツ】太陽熱のソーラー・ミレニアム、米プロジェクトの一部を太陽光に転換

集光型太陽熱発電 (CSP) 大手のソーラー・ミレニアムは8月18日、米カリフォルニア州モハーベ砂漠に建設を予定していた総容量1GW級の太陽熱発電施設のうち、半分の500MW相当を太陽光発電に転換すると発表した。計画変更の理由として、米国政府の優遇策で太陽電池の価格が急落したこと、資金調達が優遇されていることなどから、太陽光発電の採算性が上がったことを挙げている。ただし、CSPは蓄電により電力の安定供給ができることから、今後も再生可能エネルギー分野の成長事業であると強調し、米国でも太陽光と太陽熱の混合施設を建設する可能性を示唆している。ソーラー・ミレニアムは開発中のプロジェクトを含めた太陽熱発電施設の設置容量で現在、世界最大手という。今後もスペイン、米国、中東、北アフリカを中心にシェア拡大を狙う。

ニュースリリース:

http://www.solarmillennium.de/english/press/press-releases/2011_08_18-blythe-pv.html

【太陽熱:スペイン、ドイツ】エーオンとアベンゴア、共同開発の太陽熱発電所が稼働

独エネルギー最大手エーオンとスペインのエンジニアリング大手アベンゴアは9月8日、スペイン南部に共同で建設している集光型太陽熱発電 (CSP) 施設2基のうち1基が運転を開始したと発表した。2基合わせた敷地総面積は220ヘクタール(約2万3,000平方メートル)。設置された12万1,000枚の鏡(集光器)から集めた太陽熱で、出力50MWの蒸気タービン2基を駆動させる。設置されたセビリア郊外では一年のうち300日以上晴天日があるという。1基当たり2万6,000世帯の電力需要を賄うことができ、これにより削減できる二酸化炭素(CO2)の量は年間3万1,500トン。残り1基も年内に稼働する予定。

ニュースリリース:

[http://www.abengoasolar.com/corp/web/en/acerca de nosotros/sala de prensa/noticias/2011/solar_20110908.html](http://www.abengoasolar.com/corp/web/en/acerca%20de%20nosotros/sala%20de%20prensa/noticias/2011/solar_20110908.html)
<http://www.eon.com/en/media/news-detail.jsp?id=10584>

【風力:イタリア】エネル、ブラジルの風力発電事業を3件落札

イタリアの電力大手エネルの再生可能エネルギー子会社、エネル・グリーン・パワー(EGP)は8月19日、ブラジル政府が実施した2011年度の新エネルギーの公開入札で、3件の風力発電プロジェクトを落札したと発表した。契約にはブラジル北東部3カ所での総容量193MWの風力発電施設の設置と、向こう20年間の電力供給が含まれる。完成すると年間発電量は770GWhとなる見込みで、約50万世帯の電力需要を賄うことができるとしている。総投資額は約3億3,000万ユーロ。2014年の操業開始を予定している。EGPはブラジルで総容量90MWの風力発電施設を開発中であるのに加え、93MWの水力発電施設を保有している。なお、同社は8月30日、ギリシャのクレタ島に設置した容量5MW級の風力発電施設の運転を開始したことを発表した。これにより、EGPのギリシャにおける風力発電施設の総容量は186 MWとなった。

ニュースリリース:

http://www.enelgreenpower.com/en-GB/media_investor/press_releases/release.aspx?iddoc=1646505
http://www.enelgreenpower.com/en-GB/media_investor/press_releases/release.aspx?iddoc=1646645

【風力:英国】丸紅、英洋上風力発電所に出資

丸紅は9月2日、デンマークの国営エネルギー会社DONGエナジーが英国南東部沖合に保有するガンフリート・サンズ洋上風力発電所の権益49.9%を約2億ポンドで取得することで合意したと発表した。総容量172MWの同発電所は2010年春に稼働を開始し、英国の12万5,000世帯分の電力を供給している。丸紅によると、日本企業が商業運転中の洋上風力発電事業に本格出資するのは初めて。洋上風力発電で世界最大手のDONGとの提携を通して、洋上風力発電の開発や操業のノウハウを獲得し、欧州や北米、日本における洋上風力発電事業への進出を加速させたいと考えた。丸紅は世界23カ国で発電事業を手がけている。保有発電容量は今回の合意分を含め8,796MWで、このうち再生可能エネルギーによる発電容量は450MWを占めている。

ニュースリリース: <http://www.marubeni.co.jp/news/2011/110902.html>

【風力:デンマーク】ベスタス、ニカラグアでタービン22基受注

風力タービン最大手のデンマークのベスタスは9月15日、ニカラグアのブルーパワー & エナジーがニカラグア南西部サン・マルティンに建設している風力発電施設「ラ・フェ」に定格出力1.8MWの風力タービン22基を供給すると発表した。契約には、運転状況を監視するオンラインシステムと、向こう5年間のメンテナンスサービスも含まれている。タービンの納入は年内に開始され、2012年第1四半期には稼働する見通しだ。ベスタスは中南米で過去20年近く事業を展開しており、ブラジル、メキシコ、チリ、アルゼンチンに子会社を設置している。今回の受注を含めた同地域における累積設置容量は1,062MWに上っている。なお、ベスタスは9月7日、イタリア南東部プーリア州の風力発電所「ルチエーラ」に2MWの風力タービン13基を供給することを明らかにした。タービンの納入は来年初めに開始される。

ニュースリリース:

<http://www.vestas.com/en/media/news/news-display.aspx?action=3&NewsID=2826>
<http://www.vestas.com/en/media/news/news-display.aspx?action=3&NewsID=2792>

【バイオマス:フランス、オランダ】仏アレバ、オランダでバイオマス発電所建設

フランスの国営原子力企業アレバは8月30日、同社が主導するコンソーシアムがオランダのエネルギー企業エネコから、バイオマス発電所を建設する契約を獲得したと発表した。受注総額は1億5,500万ユーロ。オランダ北東部デルフザイルに再生木材を燃料とする出力49MWの発電所を建設するほか、検査、試運転を請け負う。運転開始は2013年となる見通しで、完成

後は12万世帯分の電力の供給が可能になる。年間25万トンの二酸化炭素削減が見込まれている。コンソーシアムには、アレバの他、フィンランドのエンジニア大手メツォとオランダの建設大手Ballast Nedam社が参加している。アレバは近年、再生可能エネルギー分野に参入している。

ニュースリリース:

<http://www.aveva.com/EN/news-8993/biomass-arevaled-consortium-awarded-155-m-contract.html>

【低排出車:スウェーデン、ドイツ】ボルボとシーメンス、EV技術を共同開発

スウェーデンの高級自動車メーカー、ボルボとドイツの総合電機大手シーメンスは8月31日、電気自動車(EV)の技術開発で包括的な提携を結ぶと発表した。両社は電動モーターやパワー制御用の電子部品、充電技術などを共同開発し、年内にボルボのスポーツクーペ「C30」をベースとしたEV試作車に搭載する。ボルボは2012年末までに試作車200台をシーメンスに引き渡し、シーメンスが公道走行を含む独自試験を実施する。ボルボは来年、EV投入に先立ち、プラグインハイブリッド車「V60」の販売開始を予定している。なお、シーメンスは8月18日、ポルトガルでEV充電スタンドを大型受注したことを明らかにした。EV用充電設備の開発については、独BMW、仏ルノーとも提携を結んでいる。

ニュースリリース:

<http://www.siemens.com/press/en/events/2011/industry/2011-08-eMobility.php>

<https://www.media.volvocars.com/global/enhanced/en-gb/Media/Preview.aspx?mediaid=39889>

<http://www.siemens.com/press/en/pressrelease/?>

[press=/en/pressrelease/2011/power_distribution/epd201108096.htm](http://www.siemens.com/press/en/pressrelease/2011/power_distribution/epd201108096.htm)

【排出量:英国】家庭の排出削減量、3年間で1億9,700万トンに

電力・ガスの規制機関OFGEMは8月25日、顧客が5万人を超えるエネルギー企業に対して家庭向けの省エネ対策を義務づける炭素排出削減目標制度(CERT)の年次報告書の中で、2008年4月～2011年3月末の3年間に達成した家庭からの二酸化炭素削減量が1億9,700万トンだったことを明らかにした。CERT導入時の削減目標である2011年3月末までに1億8,500万トン削減は達成できたが、2010年7月に改定された新目標である2012年12月末までに2億9,300万トンに向けての達成率は67%だった。削減効果が大きかったのは断熱措置で、削減量全体の61%を占めた。このうち中空壁用の断熱材の設置が150万件、屋根裏の断熱工事は200万件をそれぞれ上回った。このほか、省エネ照明への取り換えが26%、省エネ暖房への取り換えが11%と続いた。OFGEMはエネルギー各社に断熱措置を中心とした省エネ対策に拍車をかけるよう呼びかけている。

ニュースリリース:

http://www.ofgem.gov.uk/Sustainability/Environment/EnergyEff/Documents1/CERT%202011%20annual%20report_V1.pdf

【政策:チェコ】チェコ、電力各社に排出権を無償割り当てへ

チェコ政府は8月19日、2013年～2020年の欧州排出権取引制度(EU-ETS)の第3期間の排出枠のうち合計1億820万トン電力会社に無償で割り当てる計画を発表した。2013年以降の排出枠の割り当てはオークションが原則だが、中東欧8カ国とマルタ、キプロスは特例として、低排出に向けた設備更新に取り組んでいることを条件に、エネルギー部門への無償割り当て続行が認められている。チェコ政府は、電力料金の上昇が抑えられること、電力各社がより多くの資金を設備更新に振り向けられることから、特例措置の申請を決めた。政府によると同期間に電力各社が計画する設備投資額は合計63億ユーロで、オークションで得られると見られる歳入の約3倍に達するという。また、これにより削減できる二酸化炭素量は年間1,200万トンに上る見通しだ。特例措置の申請期限は9月末まで。ポーランドも申請を決めている。

ニュースリリース(チェコ語):

[http://www.mzp.cz/C1257458002F0DC7/cz/derogace/\\$FILE/ozk-zadost_10c-20110819.pdf.pdf](http://www.mzp.cz/C1257458002F0DC7/cz/derogace/$FILE/ozk-zadost_10c-20110819.pdf.pdf)

【政策:EU】トラック課金のEU指令、対象を域内の全高速道路に拡大

欧州連合(EU理事会)は9月12日、重量貨物車両課金に関するEU指令である「ユーロビニエット(Eurovignette)指令」の対象を拡大する改正案を承認した。同指令は、大型トラックなど3.5トン以上の重量貨物車両が高速道路を通行する際に、大気汚染と騒音の代償として「外部費用」を課金するもの。道路建設やメンテナンス費用を賄う「インフラ費用」とは別の名目で徴収される。これまで同指令の適用は複数の加盟国にまたがる欧州横断交通ネットワーク(TEN-T)上の高速道路に限定されていたが、今回の改正により、EU域内のすべての高速道路に対象が拡大される。なお、ハイブリッド車と電気自動車(EV)は課金対象外となるほか、欧州排ガス規制「ユーロ5」に準拠している車両については2013年末まで、「ユーロ6」に準拠している車両については2017年末まで対象から外す。また、経済への悪影響など正当性が認められた場合、12トン以下の車両を対象外とする特例が適用される。改正指令はEU官報掲載後に施行され、加盟各国は2年以内に国内法に反映する必要がある。

ニュースリリース:

http://www.consilium.europa.eu/uedocs/cms_Data/docs/pressdata/en/trans/124568.pdf

◆◆◆◆「EBSインサイトレポート・インド版」 8月1日販売開始◆◆◆◆

◎躍進するインドの産業 - インフラ・自動車・エネルギー (約100ページ)

力強い成長を続けるインド経済。本レポートは経済と投資環境に関するマクロ情報のみならず、自動車に加え再生可能エネルギー、鉄道、道路など注目を集めるインフラ産業の最新動向と見通しを解説。インドに進出済みの企業はもちろん、これから進出を目指す企業にとっても役に立つ情報を満載した。

主な内容

- インドの経済・投資動向と日系企業の進出状況
- 日印CEPAとインドのFTAの動向
- 成長のカギを握るインフラ整備の現状と主要セクターの動向、主要プロジェクト
- 自動車の販売市場、生産の現状と今後の見通し
- 自動車部品の販売動向と見通し
- 政府の自動車関連の政策
- インドにおける乗用車メーカー各社の最新動向
- 需要急増するエネルギー:エネルギー分野の状況
- 再生可能エネルギー分野(風力発電、太陽エネルギー)の現状と可能性
- 石炭・ガス火力発電の動向

価格(PDF・全税別) : 18,000ルピー／250ポンド／280ユーロ／1,500AED／
500シンガポールドル／33,000円(全税別)／410米ドル

レポートの目次・サンプルはこちら⇒ <http://www.ebsukltd.com/india/index.html>

◆◆◆◆「EBSインサイトレポート」 2011-12年版 10月初旬販売開始予定◆◆◆◆

◎「欧州エコカーの市場と戦略 - 欧州自動車産業 2011-12年版」(約100ページ)

欧州の自動車市場は大きな転換期を迎えている。ロシア市場や中東欧の一部を除けば規模の成長は頭打ちとなったものの、今や欧州から世界の今後の自動車産業を塗り替えるトレンドが生まれている。厳しい環境規制や様々な産業を巻き込む環境技術、激化する自動車各社の競争を背景にエコカーとエコカーを支える社会基盤が広がりを見せてきた。本レポートでは欧州のエコカー市場とそれを支える環境規制や基盤の最新動向をとらえ、欧州を舞台とした各社の戦略と市場の今後の見通しを明らかにする。また、欧州以外でも主要乗用車メーカーが世界各地で導入を予定しているエコカーをまとめた。さらに、ロシアを含めた欧州自動車の市場・業界全般の過去1年の動きについて、販売・生産統計や各社の展開を中心に網羅する。

主な内容

- 欧州のエコカーと自動車市場をめぐる重要トレンド
- エコカー市場を支えるEUの規制と環境政策
- 電気自動車はじめ欧州エコカー市場の現状と見通し
- 主要乗用車メーカーの欧州を中心とした展開とエコカー戦略
- 各社が世界で今後導入を予定しているエコカーの一覧
- メーカー別の欧州の乗用車・商用車販売統計

○ロシアの自動車販売動向と市場の見通し

価格(PDF・全税別) :480ポンド/550ユーロ/63,000円

◎「欧州の環境市場と環境規制 2011-12年版」(約150ページ)

風力発電など一部では2010年に減速感が表れたものの、欧州環境市場の長期的な成長トレンドに変わりはない。低炭素社会への移行に伴い、再生可能エネルギーを中心に息の長い市場拡大が続くと期待される。脱原発を決めたドイツは、従来以上に再生可能エネルギーの利用を促進する方針だ。本レポートは最新の統計データを中心に、欧州環境市場の動きをまとめると同時に、市場拡大の担い手である先進企業100社について、その戦略と最新動向を紹介する。

また、環境市場の動向に大きな影響を与えているのが規制の枠組みだ。2050年までに低炭素経済を構築することを目指すEUの環境規制は、気候変動政策の枠組みだけでなく、今後の資源効率政策によって広範な産業に影響を及ぼす可能性が出てきた。企業にとって制約であると同時に成長のチャンスでもあるEUの環境規制について、過去1年間の新たな規制と今後ウォッチしておきたい協議中の規制の最新動向を解説する。

主な内容

環境市場と先進企業100社(約90ページ)

- 欧州の先進環境企業100社の戦略と最新動向
- 欧州環境市場規模の推移
- 太陽光発電市場の2010年実績と今後の成長見通し
- 風力発電市場の2010年実績と成長見通し
- 各国政府の支援制度の動向
- 分野別の成長予測

環境規制動向(約60ページ)

- 2050年の低炭素経済構築に向けたロードマップ
- 原料戦略と資源効率ロードマップの見通し
- エネルギー効率指令案の概要
- エコデザイン指令の動向
- EU排出権取引の制度動向と炭素リーケージ
- 自動車(乗用車、バン、トラック)のCO2排出規制と乗用車エコイノベーション規則
- スマートシティ/コミュニティの促進
- 過去1年間の主要規制の改正動向
 - WEEE・RoHS指令、廃車指令、REACH、エネルギーラベル
- 留意したいその他の主要規制の今後の動向
 - Fガス規則の改正、エネルギーインフラ・プロジェクト支援に関わる規制、エネルギー税新指令 など

価格(PDF・全税別) :680ポンド/780ユーロ/89,000円

レポートの詳細に関しましては随時ウェブサイトにて告知いたします。

◆◆当ニュースメール配信サービス希望者募集中!◆◆-----

- 当配信サービスは無料です。どなたでもホームページからご登録いただけます。
 - 配信頻度は基本的に毎月ですが、都合により不定期になることをあらかじめご了承下さい。
 - 本サービスは弊社の都合により休止することがあります。
- ご登録はこちら⇒ <http://www.ebsukltd.com/newsletter/>

◆◆当サービスのご利用に当たって◆◆-----

★登録内容の変更や配信停止はお手数ですが下記からお願い致します。

<http://www.ebsukltd.com/newsletter/>

★ニュースメールに関するお問い合わせ、その他ご利用に際してのご不明点は下記へご連絡下さい。
news@ebsukltd.com

発信元◇EBS(UK)Ltd.

1 Heathcock Court, 415 Strand, London WC2R 0NT, UNITED KINGDOM

ウェブ: <http://www.ebsukltd.com/> メール: news@ebsukltd.com

Copyright(C) EBS(UK)Ltd. 2011 掲載記事の無断転載を禁じます。
